

森の宝箱

プログラムの概要・ねらい

自然の中には、「おもしろい形」をしたものや、「きれいな色」をしたものがたくさん落ちている。これらを拾い集めて、箱に詰めるだけで、立派な森の宝箱ができ上がる。個人の感性を引き出すこともできるし、グループワークの一つとしても有効である。

場所	施設内各所、ハイキングコース等	  
時間	1時間～ 1時間30分	
値段	無料	
季節	年間	
人数	何人でも	
準備物	【利用者】 宝箱（何でもよい）、筆記用具、帽子、水筒、救急用品、活動に適した服装 【自然の家】	

①準備

日差しの強い時期は、帽子・水筒を必ず持っていく。

活動場所は、部屋やサービスセンターから遠いので、簡単なけがなどに対応できるように、救急用品を持参しておく。

②実施の流れ

【時間】

0:00 収集方法・注意事項を説明する。
 ・実施範囲・終了時間を確認する。
 ・必要以上に採集しないよう注意する。
 ・畑や人の土地には入らないように注意する。



0:10 採集開始

1:00 発表会、観覧会
 ・自分の宝箱にタイトルを付けて発表し、観覧し合う。

1:10 振り返り、分かち合い
 ・どんなものがあつたか、採集中は何を感じたか、他の人の宝箱を見てどのように感じたかを聞く。
 ・特に見せたい発見などはみんなで確認する。

1:30 終了

※グループで実施する場合は、「グループで一緒に行動をする」「グループ全員で確認をした上で宝箱に入れる」などに気を付けることで、グループワークを目的としたプログラムにもなる。

※ハイキングと組み合わせて実施することもできる。(ハイキングコース内には採集できない場所もあるので、スタッフに必ず確認する。)

※宝箱につめたものを使って、自然のオブジェを作ることもできる。

※宿泊棟・食堂（レストラン森の木）・大浴場内には入れません。また、プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。

※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ・イノシシ等に遭遇した場合の注意を徹底する。(別紙 注意が必要な動植物参照)

③後片付け

中身が乾燥するまで、宝箱のふたは開けて保存する。